



学校だより

ごさそう

〒735-0005 安芸郡府中町宮の町五丁目4番28号

TEL 082-282-3181 FAX 082-282-3182

URL <http://fuchichu.fuchu-town.ed.jp>

令和5年7月20日

第6号

府中町立府中中学校

校長 中坊 京子

学校教育目標：「^{じんかん}人間に学び 志を育てる」

令和5年度第1学期終業式あいさつ



セミの大合唱に夏を迎えたなと感じます。1学期終業式を迎えました。3年生、2年生は新たな学年に進級した4月の始業式、1年生は中学校生活が始まった入学式、みなさんが最初に目標としたこと、目指した姿にどのくらい近づいていますか？

日々の学校生活では、授業をはじめ委員会や係活動、部活動等に励み、1学期の大きな行事としての大運動会では、全校生徒で感動を創りあげることができました。みなさんが懸命に真剣に頑張る姿や楽しそうに過ごしている笑顔、私は大好きです。みなさんのはつらつとした姿、努力し粘り強く立ち向かう姿をみると本当にしあわせを感じます。最上級生になった3年生のリーダーシップは立派でした。日々の委員会やクリーンリーダー、部活動をはじめ、大運動会での力強い姿はみんなの心に残っています。また、2年生は一段とたくましくなりました。中堅学年として様々な場面で活躍し、職場体験学習でお世話になった地域の方々から、「頑張っていますよ」「気持ちのいい子たちですね」とうれしい言葉をたくさんいただきました。1年生、大運動会では元気いっぱい姿を見せてくれました。小学校から中学校と大きく環境が変化した中、リーダーを中心に探究的な学びをさらに進めようとする姿勢に成長が楽しみです。どの学年もみなさんが大きく成長した1学期でした。また、先日の七夕、さんさんA学級前の七夕飾りには生徒のみなさんの様々な願い事がありました。その中に、「みんなの願いが叶いますように」と書かれたものがいくつもありました。自分のことだけでなく、みんなの幸せを想う心にジーンとききました。

さて、明日からの夏休みに意識してほしいことを2つお伝えします。

一つ目は、「平和について考える」こと。今年も町内小中学校では8月6日の府中町原爆記念式へ奉納する折り鶴をつくりました。7月・8月は各地で平和を願う様々な行事が行われ、本校からも参加する生徒がいます。先日1年生は、被爆者の方から直接お話を聞きました。豊永さんは最後に「平和のバトンを渡すよ」と言われました。どのような思いで言われたのでしょうか。バトンにはどのような思いが込められているのでしょうか。また、『原爆の子 さだこの願い』の作者である宮崎二美枝さんは、「平和の鶴になってヒロシマを伝え続けてください!」とメッセージをくださいました。豊永さんや宮崎さんの思いは何でしょう。みなさんへ託す思い、じっくり考える夏にしてほしいと思います。

二つ目は、生活のリズムを整えて過ごすこと。学校では決まった時程や時間割に沿って生活していますが、夏休みはそれがありません。時間の使い方は自由です。「自由」というと、自分の好き勝手にやってよい、何をやってもよい、というイメージを持つのではないのでしょうか。「自由」は「自らを由とする」と書き、「由」は「よる」「もとづく」ということです。自分で考え自分で選択、決断して行動することを意味しています。自分で決めて行動するという事は責任も自分にあるということです。自由には責任もついているということをお忘れなく。この夏に力を入れて取り組みたい目標に向け、大切な時間を自らが由とする使い方をしてください。そして、成長期のみなさんが健康に過ごすために「早寝、早起き、朝ごはん」が欠かせません。朝は希望に起き朝日を浴びる、昼は努力に生き、精一杯活動、夜は一日に感謝して眠る、そんなリズムのある生活を心がけたいものです。

最後に、夏休み中も熱中症や交通安全に気を付けて自分の命を自分で守る生活を送りましょう。2学期またみなさんの笑顔に会えることを楽しみにしています。



夏休み中の売店営業時間について

夏休み中の売店の営業日は、7月25日（火）～27日（木）、8月22日（火）・28日（月）です。営業時間は8：00～12：00です。＜懇談期間中も同じ時間です。＞
英語検定を実費で受験する場合は、8月22日（火）・28日（月）に申し込んでください。



登校日について

8月9日（水）を登校日とします。全学年ともに4時間授業（8：20～12：50）の予定です。給食はありません。

授業日について

8月22日（火）～25日（金）・・・3年4時間授業（給食なし）
28日（月）～30日（水）・・・1・2年4時間授業（給食なし）
3年6時間授業（給食あり）



あいさつ運動

7月18日（火）にあいさつ運動を行いました。PTAの方、地域の方、学級委員さんたちの挨拶に答えるだけでなく、自分から挨拶できる生徒が増えてきたように感じます。

1年生総合的な学習の時間

学年を2つに分けて、戦争・原爆について体験した、豊永恵三郎さんの講話を聴く機会を設けました。その後、各学級で、自分たちが伝承・発信のために何ができるのかを考え、今後自分たちが学習していくテーマを決定しました。講話では、ご自身の被爆者手帳やご自身の記憶を基町高校創造表現コースの生徒たちが絵にしたものなどを見せていただきました。

9歳の時に、8月6日に見たきのご雲のこと、3日間焼け野原で家族を探し回ったこと、二葉山で、顔がわからないほど真っ黒になり、地面に並べられた何十人もの人の中から、母親を見つけることができ、生きて出会えて喜んだこと、まだ火事になっていなかった尾長の家で飲んだ水がおいしかったこと、その後、火事が広がり、家も焼けてしまったことなどの体験談を聞くことができました。

「日本は、太平洋戦争の後、これまで戦争をすることなく生活することができました。自分も87歳です。今後、被爆者・戦争経験者はいなくなっていきます。みなさんには、みなさん自身の力で、戦争のない国を作っていってほしいと思います。何ができるかを自分で考え、行動してください。みなさんひとりひとりに平和のバトンを1つずつ渡したいと思っています。」と締めくくりをされました。今回、多くの1年生が平和のバトンを受け取ってくれたことと思います。

